

授業と評価の年間計画

教 科	理数	科 目	スーパーサイエンス	
履修条件 対象生徒	必修 理数科 2年			
学習目標	1 自然科学に対する興味・関心を高め、探究する能力や表現力を身に付ける。 2 主体的に活動する能力を向上させ、プレゼンテーション能力を身に付ける。 3 将来の科学技術系人材を目指し、モチベーションの高い生徒になる。			
学習方法	【授業】 理科・数学分野を中心に、大学との連携授業、研究室体験、課題研究の3つの内容がある。連携授業では大学の先生の授業を受けるだけでなく、事前・事後学習にも取り組み、レポートを作成する。研究室体験では大学院生から研究の実際を学び、将来の進路選択に役立てる。課題研究は実験等で得た成果を発表できるようにまとめ、プレゼンテーション能力を身に付ける。さらに、国際性の向上にも取り組む。 【家庭】 レポートなどの課題を提出期限に間に合うように作成する。また、普段から最先端の科学技術系ニュースにも気を付け、将来の進路についての意識を高める。 【特別行事】 外部講師による講演会、大学での体験活動、科学技術系施設での研修などを随時実施する。その都度、事前・事後学習と報告書作成に取り組む。			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 班別課題研究の継続と推進 (2) 研究計画発表会の開催 (3) 愛媛大学で連携授業・施設見学	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の技術向上と知識の定着を図る。 ・聞く態度や質疑応答の姿勢を身に付ける。 ・研究内容の専門的なレベルアップを図る。 ・最先端の研究に触れることで、興味・関心の向上を図る。 		
	2 2学期 (1) 愛媛大学教員による連携授業 (2) 課題研究中間発表会の開催 (3) 愛媛大学研究室体験 (4) 課題研究を通じた下級生の指導 (5) 科学系コンテストへの参加 (6) 出前実験・科学イベントの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業を利用し課題研究を深化させる。 ・最先端科学技術への興味・関心を深める。 ・発表能力と質疑応答能力を高める。 ・科学技術系への進路意識の向上を図る。 ・研究の実際を体験して研究意欲を高める。 ・論文作成能力を身に付ける。 ・1年生の課題研究への指導力を高める。 ・指導者として取り組む姿勢の向上を図る。 		
	3 3学期 (1) 愛媛大学教員による連携授業 (2) 課題研究のデータ整理とまとめ (3) プレゼンテーション資料の作成 (4) 課題研究最終発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性と進路意識の向上を図る。 ・データ整理や考察能力の向上を図る。 ・研究成果の表現方法について学ぶ。 ・研究成果を公開し、外部評価によって更なる研究深化の一助を得る。 		
評価規準	知識・理解	技 能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	自然の事物・現象について、基本的な原理・法則を理解し、研究を進める上で求められる知識を身に付けている。	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に整理することができる。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、科学的に考察し、的確に表現することができる。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとする科学的態度を身に付けている。
評価方法	①取り組む姿勢、②提出レポート、③研究発表の内容、④研修成果・研究実績以上を総合的に判断して評価する。			
そ の 他	スーパーサイエンスハイスクール指定校である本校独自の学校設定科目である。			